

development. 新潟歯学会. 第2回例会. 新潟, 2023年11月4日

【受賞】

- 1) 目黒史也, 川崎勝盛, 川崎真依子, 北村円, Jean Rosenbaum, 大峽淳. 胎児酸素環境に依存した重層扁平上皮の発生機序, 第5回口腔医科学フロンティア研究会, 新潟, 奨励賞, 2023年4月16~17日

【その他】

- 1) 第5回口腔医科学フロンティア研究会 主催, 2023年4月16~17日, 新潟
- 2) 西村隆之, 小暮 悠杏; Canonical Wnt signaling in pre-migratory cranial neural crest cells determine their post-migratory cell proliferation in orofacial development; 令和5年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP) 大会; 川崎真依子 (ファカルティー アドバイザー)

口腔生理学分野

【著書】

- 1) 岡本 圭一郎, 長谷川 真奈: 口腔顔面痛の診断と療ガイドブック 第3版. 第2部 7.ストレスと痛み 第4部 6.運動療法-4)全身運動と痛み. 75-8, 177-8 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023年.
- 2) 岡本圭一郎 他: 人体の構造と機能・歯・口腔の構造と機能・疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (担当:共著, 範囲:I編 SECTION14-26, II編 SECTION 4-5)医歯薬出版, 東京 2023年.

【論文】

- 1) Piriyastrasath K, Kakiyara Y, Kurahashi A, Taiyoji M, Kodaira K, Aihara K, Hasegawa M, Yamamura K, Okamoto K: Preventive Roles of Rice-koji Extracts and Ergothioneine on Anxiety- and Pain-like Responses under Psychophysical Stress Conditions in Male Mice. *Nutrients* 15(18): Doi: 10.3390/nu15183989, 2023.
- 2) Piriyastrasath K, Hasegawa M, Kakiyara Y, Iwamoto Y, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of stress contagion on anxiogenic- and orofacial inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. *Eur J Oral Sci* : e12942, Doi: 10.1111/eos.12942, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 岡本 圭一郎: トレッドミル走がストレス誘発性の

顔面痛を軽減する脳メカニズム. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 23K09391 2023年

- 2) 山村健介, 黒瀬雅之, 内山美枝子, 佐藤大祐, 岡本圭一郎, 新井映子, 小林琢也: 認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 22H03375, 2022-2025.

【学会発表】

- 1) 岩本 佑耶, Kajita Piriyastrasath, 長谷川 真奈, 柿原嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: 雄マウスの咬筋持続的炎症モデルにおける不安および後肢痛様反応に対するアグマチンの予防的役割. 第101回日本生理学会大会, 小倉, 2024年3月28-30日.
- 2) Kajita Piriyastrasath, Yuya Iwamoto, Mana hasegawa, Yoshihito Kakiyara, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Effects of Rice-koji extracts and ergothioneine on anxiety- and pain-like responses under psychophysical stress conditions in mice. 第101回日本生理学会大会, 小倉, 2024年3月28-30日.
- 3) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎: ストレス伝染による咬筋侵害応答の増大と下行性疼痛制御系の変調について. 第28回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会, 筑紫野, 2023年11月17-19日.
- 4) 松尾小百合, 森川和政, 熊谷美保, 加藤哲也, 山村健介, 黒瀬雅之: 小型6軸センサを活用した簡易粘度計の実用化に向けた検討. 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第34回学術大会, 大阪, 2023年10月29日.
- 5) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の変容を促した時の若年者と高齢者のガムチューイング中脳活動の変化. 第62回日本生体医工学会大会, 名古屋, 2023年5月18日.
- 6) Kajita Piriyastrasath, 長谷川 真奈, 柿原 嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: ストレス伝染は吻側延髄腹側部を変調させる. 第65回歯科基礎医学学会学術大会, 東京, 2023年9月16-18日.
- 7) サンタマリア マリアテリース, 長谷川 陽子, 吉村将悟, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕: Cognitive function-related changes due to masticatory behavior modification: Two randomized controlled studies by age. 一般社団法人日本老年歯科医学会第34会学術大会. 横浜, 2023年6月16日.
- 8) 吉岡 望, 黒瀬 雅之, 佐野 裕美, 知見 聡美, 山村 健介, 南部 篤, 竹林 浩秀: Dystonia musculorum マウスが示す運動異常における感覚運

動回路の役割. 第 66 回日本神経化学会, 神戸, 2023 年 7 月 6 日.

- 9) Yukina Miyazaki, Tatsuya Suzuki, Yoko Hasegawa, Shogo Yoshimura, Ma. Therese Sta. Maria, Kazuhiro Hori, Kensuke Yamamura, Takahiro Ono, Yumie Ono : Effect of habituating intentional chewing on brain activity in older adults. Neuroscience2023, Washington, D.C., 2023 年 11 月 14 日.
- 10) Y. Tsutsui, T. Tsujimura, K. Piriyaprasath, T. Chotirungsan, J. Magara, K. Okamoto, K. Yamamura, M. Inoue : Activation of motor neurons of posterior belly of digastric muscle during swallowing. Neuroscience2023, Washington, D.C., 2023 年 11 月 13 日.
- 11) Kajita Piriyaprasath, Mana Hasegawa, Yoshito Kakihara, Keiichiro Okamoto, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura. Effects of stress contagion on anxiety- and orofacial pain-like responses with brain activation in mice. 第 56 回新潟歯学会 2023 年 4 月 15 日.

【その他】

- 1) 岡本圭一郎 : 食から目指す健康寿命の延伸ー「食べる力」は「生きる力」米発酵食品でストレスを解消する 新潟大学 令和 5 年度後期 新潟大学公開講座 (新潟市) 2023 年 10 月 21 日
- 2) 山村健介 咀嚼をつかさどる脳と身体のおもしろさ 日本咀嚼学会 第 23 回健康咀嚼指導士認定研修会 2023 年 7 月 19 日～8 月 2 日 (Web 開催)
- 3) 山村健介 食を楽しむために必要な身体のおもしろさ 令和 5 年度にいがた市民大学 大学コンソーシアム連携講座 (新潟市) 2023 年 7 月 29 日
- 4) 山村健介 人生 100 年時代を健やかに過ごすための口役の役割 生きがいづくりセミナー2023 (新潟市) 2023 年 9 月 30 日
- 5) 岡本圭一郎 米麴にストレス軽減効果 新潟日報 社会面 2023 年 11 月 13 日
- 6) 岡本圭一郎 米麴にストレス軽減効果あり JST 科学新聞 2023 年 11 月 10 日
- 7) 岡本圭一郎 米麴がストレス軽減につながる？米発酵食品の健康効果について聞いたメディアエンジン株式会社 Wellulu <https://wellulu.com/balanced-diet/12241/> 2023 年 12 月 20 日

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Iida I., Konno K., Natsume R., Abe M., Watanabe M.,

Sakimura K., Terunuma M. Behavioral analysis of kainate receptor KO mice and the role of GluK3 subunit in anxiety. *Scientific Reports*. 2024 Feb 24; 14(1):4521.

- 2) Akiyama H., Kawano F., Terunuma M., Hirata S., Hasagawa T., Tsuruta J., Taguchi N., Oto T., Noritake K., Satomura K., Ueda T., Onizuka C., Morita H. The Journal of Japanese Dental Education Association. Special Issue, 2024 Mar; p1-40.

【商業誌】

- 1) 市木貴子: 神経系による飲水制御～消化管における浸透圧センシング機構～. 実験医学 41(20) (増刊) 3310-3316 頁, 羊土社, 2023 年 12 月
- 2) 照沼美穂: 研究者のキャリアパス～海外留学から PI になるまで～. 生理学女性研究者の会ニュースレター, 2024 年 2 月

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂: 歯周病原細菌としての精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B), 21H03109.
- 2) 照沼美穂: 新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究強化 (B), 22KK0140.
- 3) 市木貴子: 迷走神経による低浸透圧感知メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 22K15223.
- 4) 市木貴子: 革新的イメージング技術による脳腸相関メカニズムの解明. JST 戦略的創造研究推進事業 さきがけ「生体多感覚システム」領域, 23829130.
- 5) 那須優介: 歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析. 新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト. J21H0032.
- 6) 那須優介: 歯周病原細菌感染症によるうつ様行動発症機序の解明. 新潟大学令和 5 年度 Ugo グラント支援研究費. J21H0032.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 照沼美穂: タンパク質代謝不全が脳機能に与える影響, 第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会/第 66 回日本神経化学会大会 合同大会, 兵庫県神戸市, 2023 年 7 月 6 日～8 日.
- 2) 照沼美穂: Regulatory mechanism of astroglial glutamate synthetase and its role in CNS health and diseases., 第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会/第 66 回日本神経化学会大会 合同大会, 兵庫県神戸市, 2023 年 7 月 6 日～8 日.